

# 標準化TFにおける取組の報告

---

令和5年11月29日

# 検討体制と各チームのタスク



標準化TF

## 設計情報 収集

**意匠情報 検討チーム**  
 ・意匠に必要な属性情報の整理  
 ・部位別の情報検討  
 ・仕様書情報の検討

**構造情報 検討チーム**  
 ・構造に必要な属性情報の整理  
 ・部位別の情報検討  
 ・仕様書情報の検討

**設備情報 検討チーム**  
 ・設備に必要な属性情報の整理  
 ・部位別の情報検討  
 ・仕様書情報の検討



## 施工・製作情報 収集

**施工・製作情報 検討チーム**  
 ・施工・製作に必要な属性情報の整理  
 ・工種別の情報検討

I - ①

III - ① (仕様書に関する項目)

タスク1：属性情報項目リスト作成

タスク2：属性情報項目の名称の整理

タスク5：MET/MATまとめ (部位別・工種別)

II - ① ソフトウェア間連携に必要な  
 ステージ毎に必要な情報の整理

タスク4：属性情報 (パラメーター) の  
 入力者決定

## 統合・分析・整理

**データ整合 チェックチーム**  
 ・設計に必要な属性情報と  
 施工・製作に必要な属性情報  
 の整合・調整  
 ・部位別+工種別の情報検討  
 ・IFCルール・中間FFなど  
 連携手法の検討  
 ・外部データの取扱い  
 についての検討

I - ①

タスク3：部材別、工種別属性項目の整合確認

タスク5：MET/MATまとめ (最終)

II - ① (連携に関する項目)

III - ① (連携に関する項目)

★検討、試案のまとめ

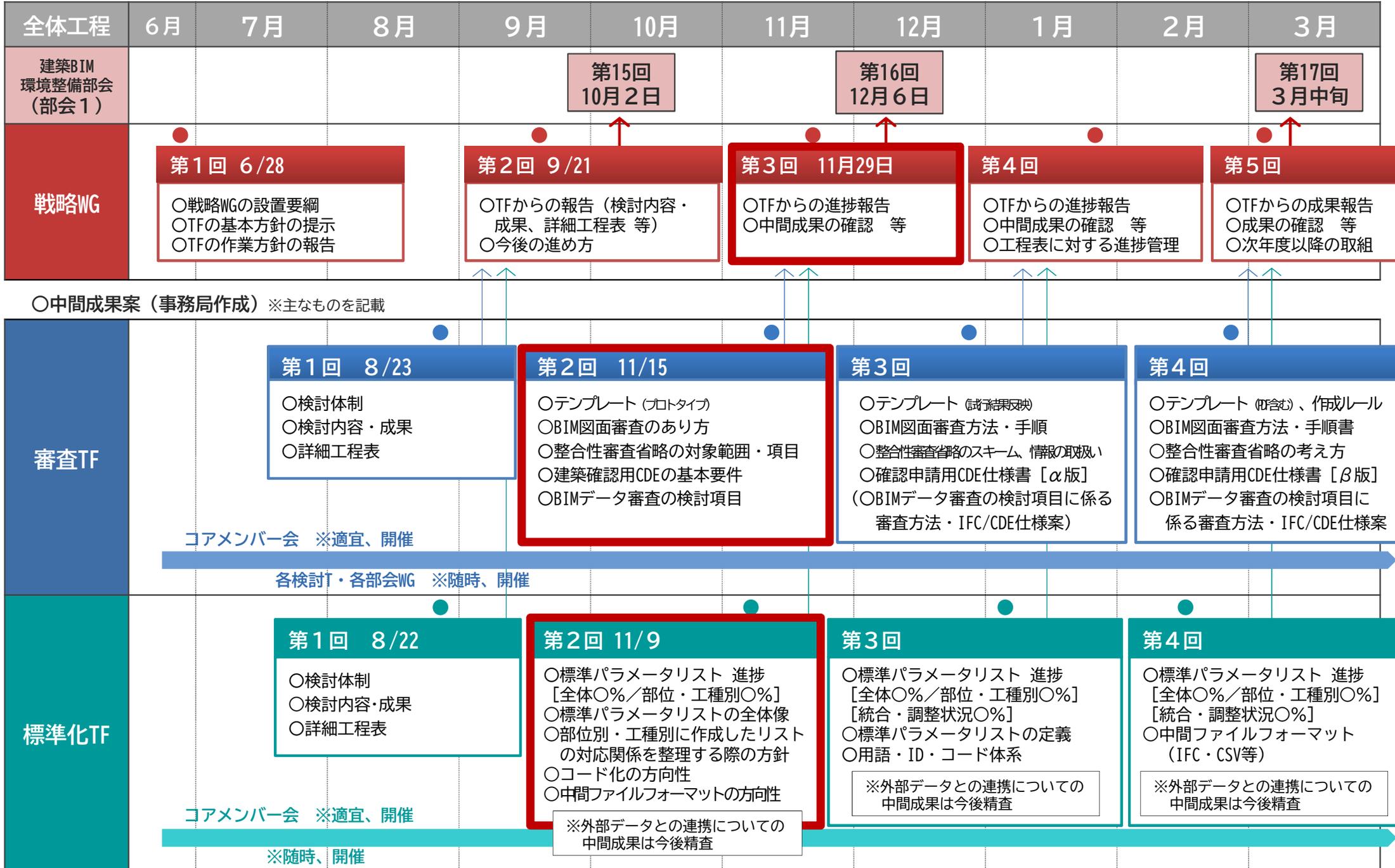
**積算情報 検討チーム**  
 ・積算に必要な属性情報  
 の整合・調整

III - ②

★検討、試案のまとめ

★MET/MATの使用項目整理

# 各TFの取組に関する進捗確認



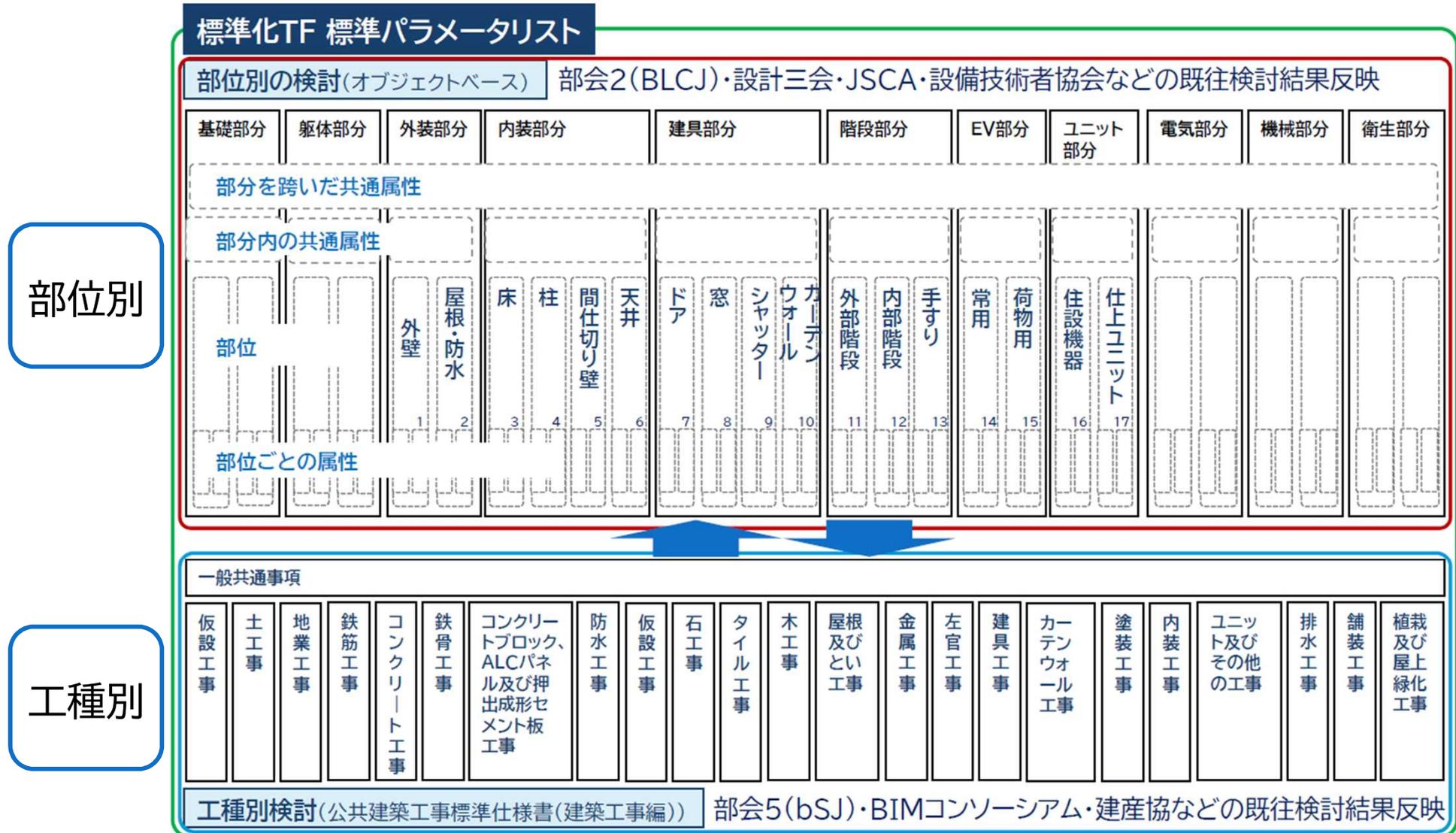
※ 中間成果案等は必要に応じ継続的に精査

# 標準パラメータリストの全体像

---

# 標準パラメータリストの全体像

後工程の効率向上と、人為的な入力ミスを防ぐために、設計から積算、施工、製作にデジタル連携する仕組みを構築する。具体的には、設計者が作成する部位別の情報を、積算、施工、製作が必要とする工種別の情報を標準パラメータリストとしてまとめ、各々の項目の紐付けを行う



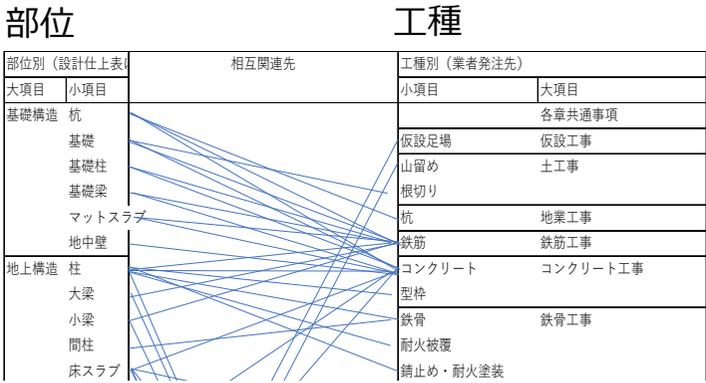
【課題】 後工程でも部位別を用いた方が取扱いやすいものも存在する

# 部位一工種を整理する際の方針

---

# 部位-工種を整理する際の方針

標準パラメータリスト作成にあたり、部位別・工種別にリストを作成したのち、部位と工種を整理、紐付けする方針として、関係図を作成、マトリクス表としてまとめ、体系化・コード付番を行ない、各ロングリストに反映、コード・IDを付番する方針とする。

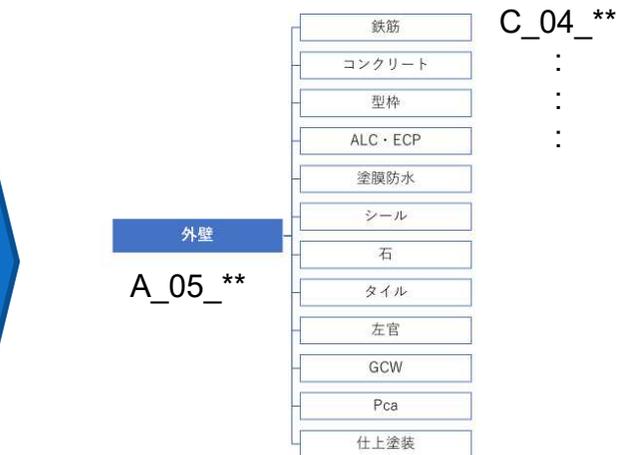


関係図



マトリクス表: 部位-工種関係マトリクス。縦軸は部位 (仮設足場、山留め、根切り、杭、鉄筋、コンクリート、型枠、鉄骨、耐火被覆、錆止め・耐火塗装、マットスラブ、地中壁、地上構造) を、横軸は工種 (仮設工事、土工、地盤工事、鉄筋工事、コンクリート工事、型枠工事、鉄骨工事、耐火被覆工事、錆止め・耐火塗装工事、防水工事) を示す。○印で対応関係を示している。

マトリクス表



体系化・コード付番



各ロングリストへ反映

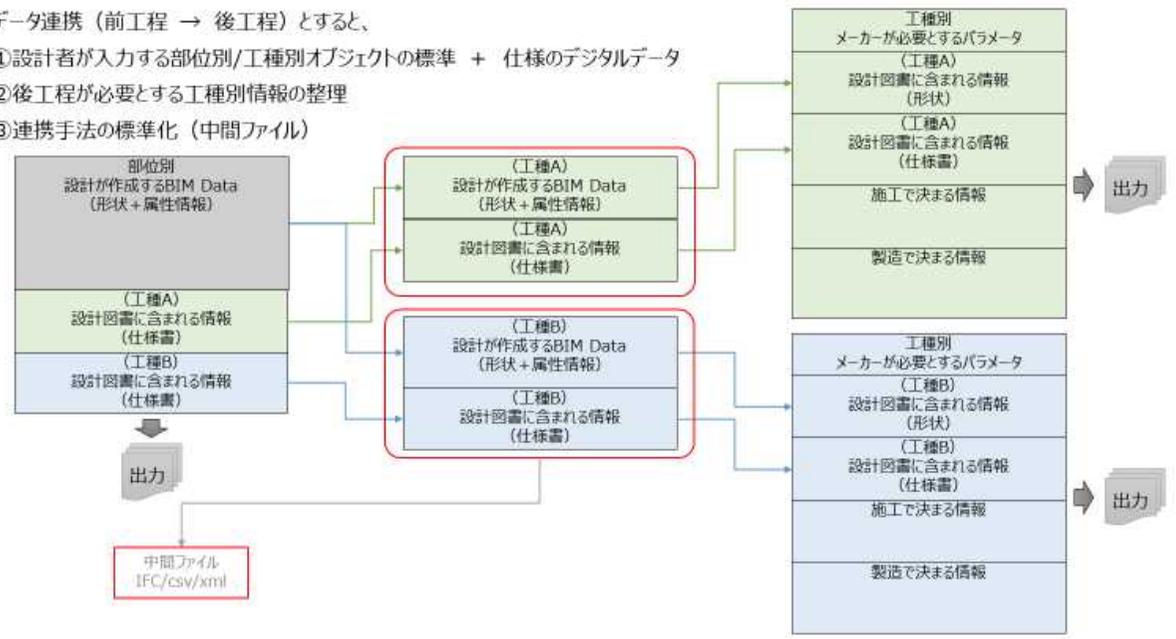
部位: 想定 (現在整理中)  
工種: 公共工事標準仕様書を想定

**【現状の課題】**  
後工程が必要とする情報は、オブジェクトにのみ存在するのではなく、仕様書等のデジタル化も併せて検討する必要がある

## オブジェクトに関する属性情報の標準化

データ連携 (前工程 → 後工程) とすると、

- ① 設計者が入力する部位別/工種別オブジェクトの標準 + 仕様書のデジタルデータ
- ② 後工程が必要とする工種別情報の整理
- ③ 連携手法の標準化 (中間ファイル)



# コード化の方向性

---

# コード化の方向性

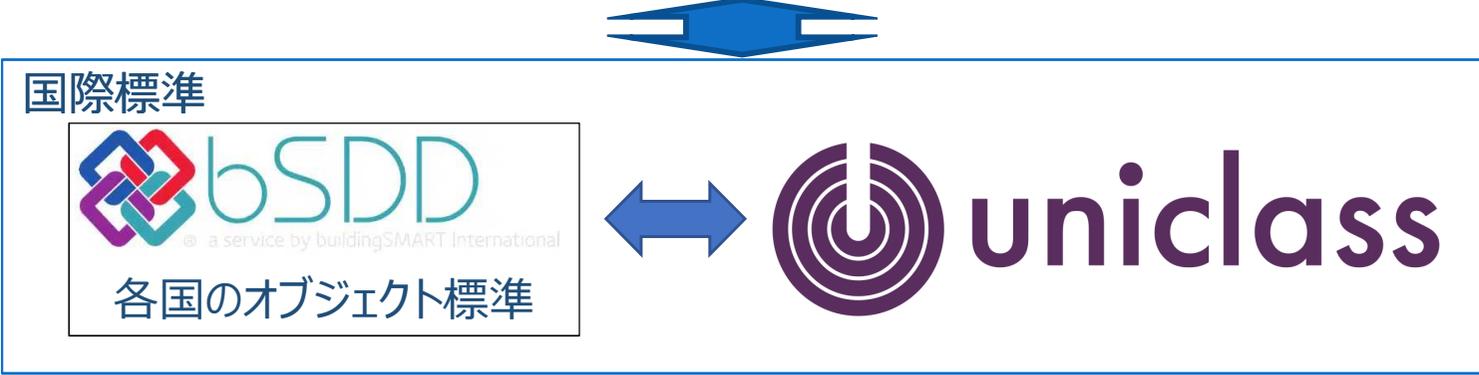
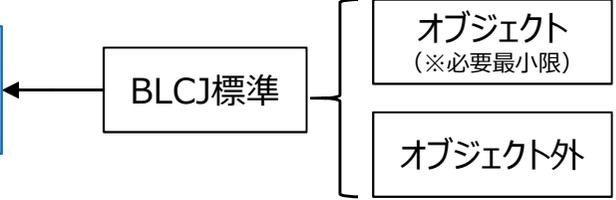
設計、積算、施工、製作等の関係者の中でデジタル連携する為には、扱うパラメータにIDが付与されてひる必要がある。IDの付番には、コード体系があると理解が容易になることから、公共建築工事標準仕様書の工種分類に準じるコード体系を検討する

公共建築標準仕様書による工種分類

02 仮設工事	07 鉄骨工事	12 木工事	17 CW工事	22 塗装工事
03 土工事	08 CB、ALC	13 屋根・樋工事	18 塗装工事	23 植栽工事
04 地業工事	09 防水工事	14 金属工事	19 内装工事	電気工事
05 鉄筋工事	10 石工事	15 左官工事	20 ユニット・その他工事	機械設備工事
06 コンクリート工事	11 タイル工事	16 建具工事	21 排水工事	

【国際標準であるUniclass採用に対する課題】  
 ①日本独自の項目を補填する必要がある  
 ②現在も頻繁に改訂されるため、保守が困難

【現状の課題】  
 標準策定後の維持、保守する組織・団体が存在しない



※bSDD  
 buildingSMART Data Dictionary  
 オブジェクトデータの流通性を向上させるための国際規格  
 各国のオブジェクト標準を紐付

# コード化の方向性

部位別、工種別に整理されたパラメータをデータ連携（紐付け）するために、各項目にIDを定める。これは、公共建築工事標準仕様書の章立てを元にしたコードに、項目を識別する三桁の数字で検証する

仮設計項目コード	意匠設計 No.	意匠設計(BLCJ)	施工製作(bSJ)	施工製作 No.	仮施工項目コード
A_20_02_001		1企業コード	程度・グレード	1	C_16_04_001
A_20_02_002		2企業名	A_20_02_009 = C_16_04_002	2	C_16_04_002
A_20_02_003		3企業URL	建具種類	3	C_16_04_003
A_20_02_004		4分類コード	建具符号	4	C_16_04_004
A_20_02_005		5分類グループ	内外区分	5	C_16_04_005
A_20_02_006		6製品グループ	防火区分	6	C_16_04_006
A_20_02_007		7メーカー型番	防煙区分	7	C_16_04_007
A_20_02_008		8型式名称	W	8	C_16_04_008
A_20_02_009		9建具種類	W1	9	C_16_04_009
A_20_02_010		10建具番号	必要有効W	10	C_16_04_010
A_20_02_011		11内外区分	親W（親子開き、両開きの場合のみのパラメータ）	11	C_16_04_011
A_20_02_012		12取付場所	子W（親子開き、両開きの場合のみのパラメータ）	12	C_16_04_012

⇒受け入れ先?のパラメータは参考値とする

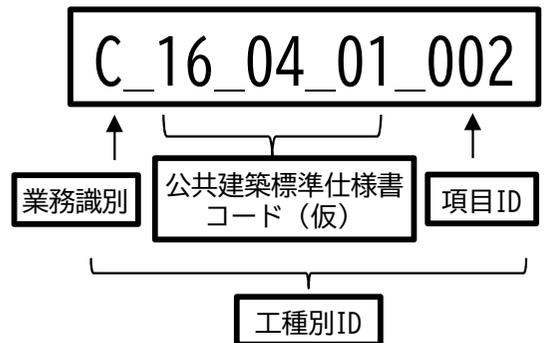
設計（意匠）	部位番号	部位番号サブ1	部位番号サブ2	パラメータ番号	値（設計）
A_	10_	01_	01_	001_	01

例：建具種類 A\_20\_02\_01\_009

||

例：建具種類 C\_16\_04\_01\_002

施工	工種番号（章）	工種番号サブ1	工種番号サブ2	パラメータ番号	値（施工）
C_	10_	01_	01_	001_	01
例	建具工事 16_	鋼製建具	親子・両開扉	防火区分	防火設備
	内装工事 19_	アルミ製建具	引戸	枠性能	特定防火設備
	:	:	:	:	一般
	:	:	:	:	:



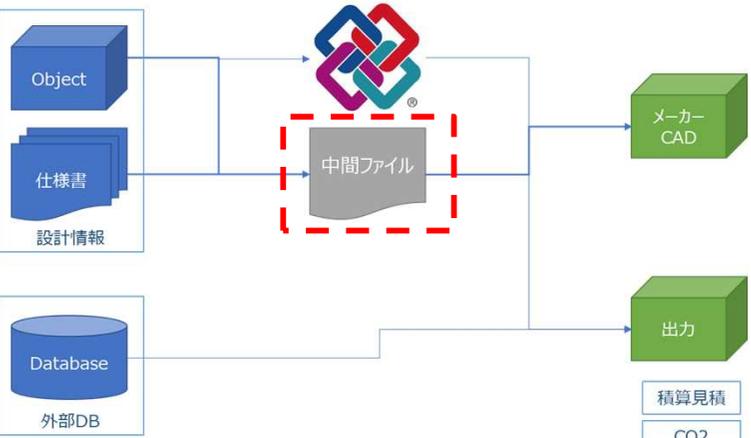
※構造、設備、部位、工種等の整合を今後調整

# 中間ファイルフォーマット方向性

---

# 中間ファイルフォーマット方向性

積算や製作等、ソフトウェア間でデータ連携を行うために必要な中間ファイルフォーマットを検討する。連携に必要な情報がすべてオブジェクトに内包されるわけではない為、国際標準であるIFCのみを用いた連携は難しい。標準パラメータリストの属性情報名称・データ形式を伝達する手段としてCSV(XML・IFC)形式で検証する。



標準化TF第一回資料

仮設計項目コード	意匠設計No.	意匠設計(BLCJ)	施工製作(bSJ)	施工製作No.	仮施工項目コード
A_20_02_001	1	企業コード	程度・グレード	1	C_16_04_001
A_20_02_002	2	企業名	建具種類	2	C_16_04_002
A_20_02_003	3	企業URL	建具符号	3	C_16_04_003
A_20_02_004	4	分類コード	内外区分	4	C_16_04_004
A_20_02_005	5	分類グループ	防火区分	5	C_16_04_005
A_20_02_006	6	製品グループ	防煙区分	6	C_16_04_006
A_20_02_007	7	メーカー型番	W	7	C_16_04_007
A_20_02_008	8	型式名称	W1	8	C_16_04_008
A_20_02_009	9	建具種類	必要有効W	9	C_16_04_009
A_20_02_010	10	建具番号	親W (親子開き、両開きの場合のみのパラメータ)	10	C_16_04_010
A_20_02_011	11	内外区分	子W (親子開き、両開きの場合のみのパラメータ)	11	C_16_04_011
A_20_02_012	12	取付場所	HH	12	C_16_04_012

例) ロングリスト

単位: mm(小数点第一位) 点第一位) 点第一位) 点第一位)

1行目	// 日時 ユーザー名													
2行目	VER	1.0.1	ファイルバージョンを記載する											
3行目	ABSOL	Xi	Yi	Zi	※3次元原点を定義した場合									
3行目	FLOOR	階	見上/見下/他	Xi	Yi	※2次元原点を定義した場合								
タイプの開始行	FAMS	ID	ファミリー名	建具記号	建具番号	内外区分								
寸法定義	SIZE	W1	HH	H	RH	UH	親W	子W	有効必要W	有効必要H				
防火性能定義	BOUKA	防火区分	防煙区分											
性能定義	SEINO	枠	耐風圧	遮音	断熱	気密	水密	耐震						
躯体開口定義	KUTAI	クリア寸法左	クリア寸法右	クリア寸法上	クリア寸法下	開口幅	開口高さ							
枠定義	WAKU	形状	サリ (扉側)	サリ (窓側)	見付 (扉側)	見付 (窓側)	下掛見付 (扉側)	下掛見付 (窓側)	戸当り見付	戸当り見込	枠上取合い	枠見込	材質	仕上
欄間定義	RANMA	有無	種類	方立見付	パネル (両側)	パネル (扉側)	パネル (窓側)	ガラス	ガラスタイプ	ガラスオプション	扉開閉角度	無目見付		
下枠・査指定義	KUTSU	特殊リブの有無	形状	材質	仕上									
巾木/戸しゃくり定義	HABAKI	巾木	戸しゃくり											
扉定義	DOOR	厚さ	意匠 (親)	意匠 (子)	仕上	材質								
扉ガラス定義	GLASS	有無	板厚	MW	MH	ガラス種類								
扉ガラス定義	LOUVRE	有無	タイプ	オプション	GW	GH	材質	仕上						
自閉装置定義	JIHEI	自閉装置												
庇定義	EAVES	有無	庇出寸法											
水切定義	MIZU	水切	水切出寸法	材質										
吊金物定義	TSURI	吊金物	メーカー	品番										
ハンドル定義	HANDLE	種類	メーカー	品番										
フランス落とし定義	FRANCE	有無	メーカー	品番										
錠前定義	LOCK	種類	メーカー	品番										
戸当り金物定義	TOATARI	有無	メーカー	品番										
順位調整器定義	JYUNI	有無	メーカー	品番										
召し合せ定義	MESHI	形状												
丁番定義	HINGE	枚数												
タイプの最終行	FAME													
タイプの配置行	POST	ID	Xg	Yg	Zg	Ang								
データの最終行	END													

2023年bSJ建築データ連携小委員会報告書  
中間ファイルフォーマット案(鋼製建具)

# 標準化TFの開催状況

---



# 標準パラメータ整備\_意匠情報検討チーム検討状況

設計事務所各社が保有するオブジェクトから、対象とする部位を選定し、これに伴う属性情報を収集。  
 黒字は、データ整合チェックチームで想定した部位。赤字は、意匠情報検討チームで追懐した部位。  
 BLCJのこれまでの成果を踏まえ、リスト収集、名称の整理を行っている

意匠情報検討チーム 進捗								
部分	部位	タスク1	タスク2	タスク3	タスク4	タスク5	進捗(%)	
		リスト 収集	名称の 整理	整合 確認	パラメータ 入力者の 決定	MET/MA T まとめ	部位進捗 (%)	部分進捗 (%)
基礎構造	杭	○	△				30	23.3
	基礎	○	△				30	
	基礎柱	○	△				30	
	基礎梁	○	△				30	
	マットスラブ	△					10	
	地中壁	△					10	
地上構造	柱	○	△				30	25.0
	大梁	○	△				30	
	小梁	○	△				30	
	間柱	○	△				30	
	ブレース	△					10	
	耐震壁	○	△				30	
	床スラブ	○	△				30	
	免震装置	△					10	
外壁	外壁	○	△				30	12.0
	CW	△					10	
	屋根	△					10	
	パラペット	△					10	
	庇	△					10	
	防水	△					10	
	笠木	△					10	
	EXP.J	△					10	
	設備基礎	△					10	
	設備架台	△					10	
	空間	部屋	○	△				
エリア・領域		△					10	
面積領域		△					10	
延焼の恐れのある領域		-	-	-	-	-	-	

内装仕上	内壁	○	△				30	21.4
	天井・軒天	○	△				30	
	床(仕上・下地)	○	△				30	
	階段	○	△				30	
	スロープ	△					10	
	手摺	△					10	
屋上	シャフト	△					10	10.0
	屋上緑化	△					10	
仮設	仮設	△					10	10.0
	土工	△					10	
	山留め	△					10	
開口部	ドア(扉)	○	△				30	26.0
	窓	○	△				30	
	シャッター	○	△				30	
	ガラリ	○	△				30	
	床搬入口	△					10	
その他	ユニット類	○	△				30	17.5
	衛生器具	○	△				30	
	サイン	△					10	
	耐火被覆	△					10	
	断熱	△					10	
	雨水(樋)	△					10	
	家具	△					10	
	昇降機設備	○	△				30	
外構	敷地境界	△					10	10.0
	踏掛床版	△					10	
	外構排水	△					10	
	地上植栽	△					10	
	舗装	△					10	
垣							△	10
合計							18.1	17.2

	意匠情報	構造情報	設備情報	施工・メーカー情報
進捗(%)	18.1	15.0	70.0	23.6
全体進捗(%)	31.7			

# 標準パラメータ整備\_構造情報検討チーム検討状況

構造・躯体については、部位と工種が一致しており、設計段階、施工段階で決定される属性情報の整理が中心となる。これまでの主要部材に加え、構造設計者が扱うブレース等の部材を追加している。BLCJ、JSCA、RUGの成果を元に、過不足の精査を行っている。

構造情報検討チーム 進捗								
部位	工種(仕様書)	タスク1	タスク2	タスク3	タスク4	タスク5	進捗(%)	
		リスト 収集	名称の 整理	整合 確認	パラメータ 入力者の 決定	MET/MA T まとめ	工種細目 進捗 (%)	
基礎		△	△	△			30	
杭		△	△	△			30	
柱 (S)		△	△	△			30	
柱 (RC)		△	△	△			30	
梁 (S)		△	△	△			30	
梁 (RC)		△	△	△			30	
壁		△	△	△			30	
床		△	△	△			30	
ブレース							0	
免震装置							0	
制震装置							0	
柱脚							0	
	地業工事						0	
	鉄筋工事						0	
	コンクリート工事						0	
	鉄骨工事						0	
合計							15.0	

	意匠情報	構造情報	設備情報	施工・メーカー 情報
進捗(%)	18.1	15.0	70.0	23.6
全体進捗(%)	31.7			

# 標準パラメータ整備\_設備情報検討チーム検討状況

設備情報については、Be-Bridge、BLCJ標準等、過去20年にわたる検討の歴史があり、これを継承する形で進めている。

A材を対象として進めており、過去の成果から7割近くまで検討が完了した状態からスタートする。

分野	機種	(工種)	タスク1	タスク2	タスク3	タスク4	タスク5	進捗(%)	
			リスト収集	名称の整理	整合確認	パラメータ入力物の決定	MET/MAT 未定		
機械設備	ボイラ	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	高圧機(電動系)	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	高圧機(燃料系)	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	冷媒管	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	空調機	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	FCU	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	EHP	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	GHP	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	PAC室内機	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	全熱交換器	空気調和設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	送風機	換気設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	排風機	換気設備 機器設備	○	○	○	△		70	
	ポンプ	空気調和設備 機器設備							
		給水設備							
		排水設備		○		△			70
		給湯設備							
		消火設備							
		衛生器具	衛生器具設備	○	○	○	△		70
		温水タンク	給水設備	○	○	○	△		70
		貯湯タンク	給湯設備	○	○	○	△		70
		給湯機	給湯設備	○	○	○	△		70
		制気口	空気調和設備 タクト設備	○	○	○	△		70
	排気口	換気設備 タクト設備	○	○	○	△		70	
	ダンパー	空気調和設備 タクト設備							
		換気設備 タクト設備	○	○	○	△			70
		排気設備 タクト設備							
制御バルブ	自動制御設備	○	○	○	△		70		
消火栓	消火設備	○	○	○	△		70		
スプリンクラーヘッド	消火設備	○	○	○	△		70		

分野	機種	(工種)	タスク1	タスク2	タスク3	タスク4	タスク5	進捗(%)	
			リスト収集	名称の整理	整合確認	パラメータ入力物の決定	MET/MAT 未定		
機械設備 小計									
電気設備	空電線	電力設備(配電機器)	○	○	○	△		70	
	高圧主配電盤	電力設備(配電機器)	○	○	○	△		70	
	高圧分電盤	電力設備(配電機器)	○	○	○	△		70	
	電力線	電力設備(配電機器)	○	○	○	△		70	
	動力線	電力設備(配電機器)	○	○	○	△		70	
	手元照明器	電力設備(配電機器)	○	○	○	△		70	
	分電盤	電力設備(配電機器)	○	○	○	△		70	
	制御盤	電力設備(配電機器)	○	○	○	△		70	
	監視装置	電力設備(配電機器)	○	○	○	△		70	
	非常用発電装置	発電設備	○	○	○	△		70	
	太陽電池モジュール	発電設備	○	○	○	△		70	
	蛍光灯器具	照明設備(照明器具)	○	○	○	△		70	
	白熱灯器具	照明設備(照明器具)	○	○	○	△		70	
	高圧放電灯	照明設備(照明器具)	○	○	○	△		70	
	その他照明器具	照明設備(照明器具)	○	○	○	△		70	
	LED器具	照明設備(照明器具)	○	○	○	△		70	
	有線LAN器具	照明設備(照明器具)	○	○	○	△		70	
	スピーカー	電気設備(通気機器)	○	○	○	△		70	
	産業用スボト火警知器	自動火災警報設備(防災機器)	○	○	○	△		70	
	定温式スボト火警知器	自動火災警報設備(防災機器)	○	○	○	△		70	
	光電式スボト火警知器	自動火災警報設備(防災機器)	○	○	○	△		70	
	電気設備 小計								
	合計								
									70.0

	意匠情報	構造情報	設備情報	施工・メーカー情報
進捗(%)	18.1	15.0	70.0	23.6
全体進捗(%)	31.7			

# 標準パラメータ整備\_施工・メーカー情報検討チーム検討状況

公共建築標準仕様書の章を基準に工種別に必要な情報の整理を行う。  
 BLCJ、bSJで行ってきた検討を踏まえ、検討する工種を拡大する。  
 本年度は、工種細目については、代表的な工事を対象に検討を行う。

施工・メーカー情報検討チーム		タスク1	タスク2	タスク3	タスク4	タスク5	進捗(%)	
工種	工種細目	リスト 収集	名称の 整理	整合 確認	パラメータ 入力者の 決定	MET/MA T まとめ	工種細目 進捗 (%)	工種 進捗 (%)
02_仮設工事	01_枠足場	○	○	△			50	50
03_土工事		○	△				30	30
04_地業工事	01_杭工事	○	△				30	30
05_鉄筋工事							0	0
07_鉄骨工事	01_鉄骨躯体	○	△				30	30
	02_耐火被服	○	△				30	
08_08_CB、ALCパネル及び 押出成形セメント板工事	01_CB造						0	0
	02_ALC						0	
	03_ECP						0	
09_防水工事		○	△				30	30
10_石工事		○	△				30	30
11_タイル工事		○	△				30	30
12_木工事							0	0
13_屋根及びとい工事	01_屋根全般	○	△				30	15
	02_とい						0	
14_金属工事							0	0
15_左官工事		○	△				30	30
16_建具工事	01_アルミニウム製建具						0	30
	03_01_鋼製建具(親子両開扉)	○	○	△	△		60	
17_カーテンウォール	01_メタルカーテンウォール	○	○	△			50	25
	02_PCカーテンウォール						0	
18_塗装工事		○	○	△			50	50
19_内装工事							0	0
20_ユニット及びその他の工事	01_ユニットバス	○	○	△	△		60	30
	02_昇降機設備	○	○	△	△		60	30
21_排水工事							0	0
22_舗装工事		○	○	△			50	50
23_植栽及び屋上緑化工事		○	△				30	30
合計							24.3	23.6

	意匠情報	構造情報	設備情報	施工・メーカー 情報
進捗(%)	18.1	15.0	70.0	23.6
全体進捗(%)	31.7			

# 参考

---

# 意匠情報検討チーム報告

---

# 意匠設計情報検討チームの活動について（仮）

## 検討チームのミッション確認

標準化TFのミッション	当検討チームのミッション	当検討チームの成果品
I 属性情報の標準化	建築意匠設計に必要なオブジェクトとその属性情報の整理	①：建築意匠意匠属性項目リスト
II ソフト間での連携	連携が必要な情報の選別 (いつ、誰が、何を必要か)	①で連携が必要な項目を整理
III 外部データとの連携	ユースケースの整理	②：ユースケースのパターンリスト ①と②の関係性を示す資料

当検討チームの活動を以下のように行う。



# 意匠設計情報検討チームの活動について（仮）属性項目リストを収集

## 進め方と現状把握

これまで各団体、設計事務所で行っていた標準化に関する成果物を把握することから始める

- BLCJ、bsj、建築三会など関係団体が検討、公開している属性項目リストを収集する
- 建築意匠設計に必要なオブジェクトの全体像を把握する

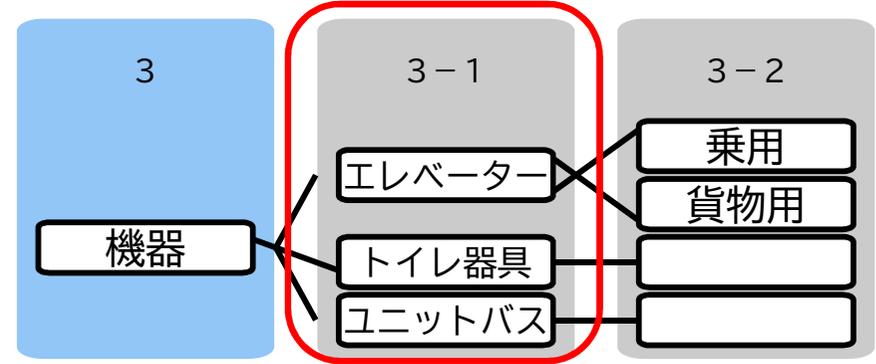
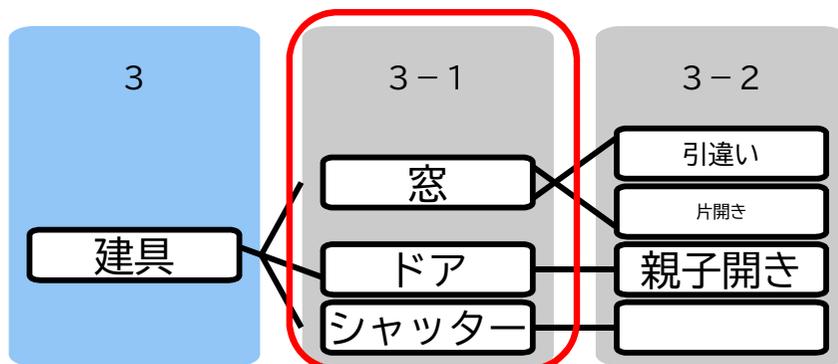
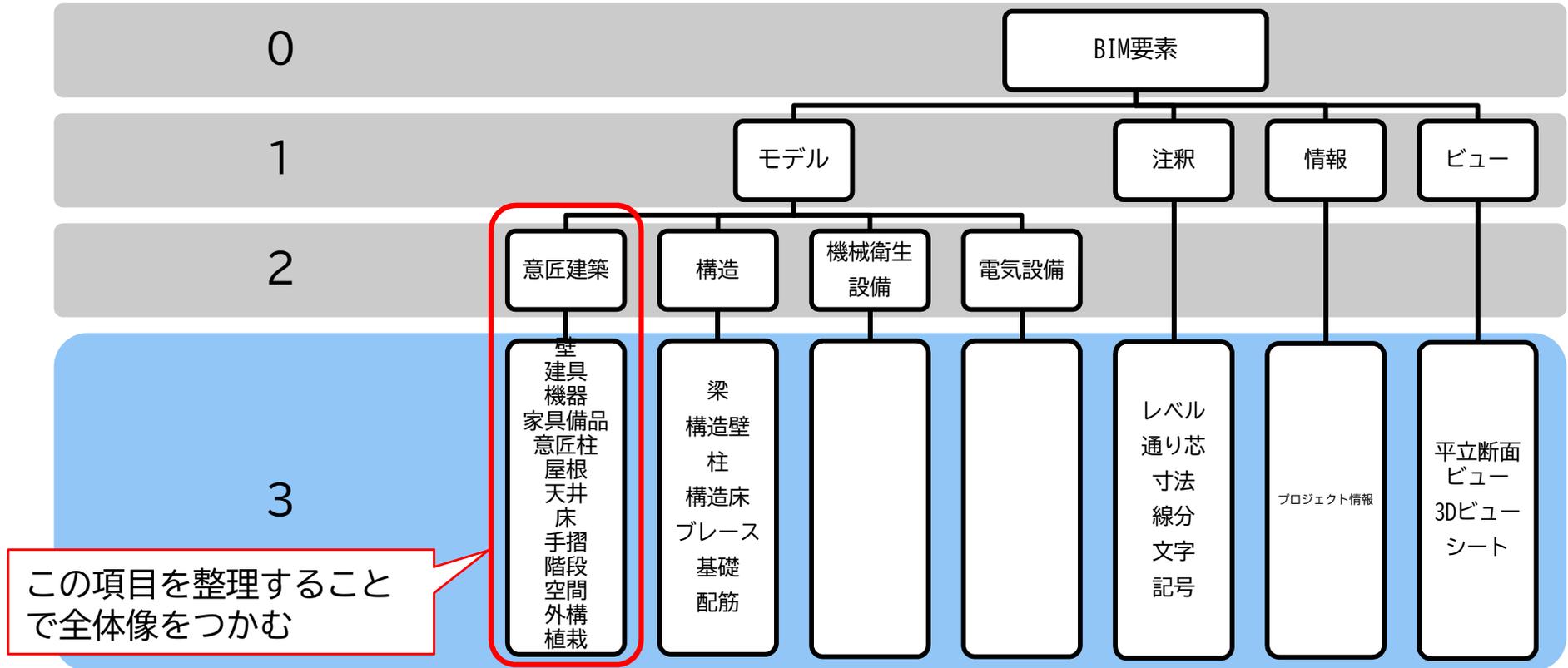
各団体の属性項目リストがオブジェクトベースで整理されていることから、各団体の成果物から全体像を把握することができ、これを元に、不足、重複、その他調整すべき項目を明確化

団体名等	概要
BLCJ	Ver1.0公開済み 構造はVer2.0公開済み 2023年10月にVer2.0公開予定 意匠設計では、建具（ドア、窓、シャッター）機器（エレベーター、トイレ） 今年度より空間（部屋、壁）の検討開始
bSJ	
建築三会	設計BIMワークフローガイドラインの中で次のオブジェクトのパラメータリストを公開。空間要素、意匠床（意匠スラブ床）、壁（内部間仕切り）、ドア（両開き、防火戸、シャッター）、窓（四連窓、がらり）、衛生器具（洗面化粧台）、家具システム（給湯室流し）、機械設備（エレベーター）
ユーザー会	RUGなどが提供するサンプルモデルの属性項目
民間企業	応用技術のBootOne、ビムアーキテクツのAReXなどに実装されている属性項目 各設計事務所が社内で活用している属性項目
その他	建産協 BIM-ECコンソーシアム 日建連

検討会で収集可能性あるものを挙げ、実際に収集する。  
建築意匠設計関連を中心に。日建連など施工に近いところは別検討チームが対応か？

# 意匠設計情報検討チームの活動について (仮) オブジェクトの全体像

Autodesk社のRevitの要素分解を元に、意匠設計が必要とする要素についてのみ、オブジェクト（モデル）、注釈、表示（ビュー）、その他情報とその階層を仮定し、オブジェクト（モデル）のカテゴリを階層に分解して整理する手法を検討中



# 意匠設計情報検討チームの活動について（仮）オブジェクトの全体像

部位別のオブジェクト（モデル）は、工種別と一対一の関係にはならない。  
公共建築標準仕様書では、部位別オブジェクトと関係の薄い工事が定義されている

## 公共建築工事標準仕様書について

### 1. 目的・概要

公共建築工事標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）は、公共工事標準請負契約約款に準拠した契約書により発注される公共建築工事において使用する材料（機材）、工法等について標準的な仕様を取りまとめたものであり、当該工事の設計図書に適用する旨を記載することで請負契約における契約図書の一つとして適用されるものです。標準仕様書の適用により、建築物の品質及び性能の確保、設計図書作成の効率化並びに施工の合理化を図ることを目的としています。

また、標準仕様書は、各府省庁が官庁営繕事業を実施するための「統一基準」として位置づけられており、その改定周期は3年となっています。

### 2. 適用範囲等

標準仕様書は、主に一般的な事務庁舎の新築及び増築に係る公共建築工事への適用を想定して作成されています。

### 3. 記載している材料（機材）・工法等

全国で実施される公共建築工事において建築物に必要な品質及び性能を確保するため、標準仕様書に規定する材料（機材）、工法等については、主に次の内容を考慮しています。

- ・規格が統一化又は標準化されていること。
- ・信頼性及び耐久性を有し、安全性及び環境安全性が確保されていること。
- ・地域的に偏在したものでなく、全国的な市場性があること。
- ・特許等に関連するもの又は特定の企業等に限定されるものではないこと。
- ・適切な実績があること。

### 4. 適用に当たっての留意事項

発注者及び設計者は、対象とする建築物の用途や規模等に応じて、適切な材料（機材）、工法等を選定し、設計図書に仕様を特記する必要があります。

また、標準仕様書に記載している材料（機材）、工法等以外のものを採用する場合には、選定した材料（機材）、工法等を設計図書に特記して下さい。

## 目次

1章 各章共通事項	1
1節 共通事項	1
2節 工事関係図書	5
3節 工事現場管理	6
4節 材 料	10
5節 施 工	11
6節 工事検査及び技術検査	13
7節 完成図等	13
2章 仮設工事	15
1節 共通事項	15
2節 綱張り、遣方、足場等	15
3節 仮設物	16
4節 仮設物撤去等	16
3章 土 工 事	17
1節 共通事項	17
2節 根切り等	17
3節 山 留 め	19
4章 地 業 工 事	20
1節 共通事項	20
2節 試験及び報告書	20
3節 既製コンクリート杭地業	22
4節 鋼杭地業	26
5節 場所打ちコンクリート杭地業	27
6節 砂利、砂、捨コンクリート地業等	30
5章 鉄筋工事	32
1節 共通事項	32
2節 材 料	32
3節 加工及び組立	33
4節 ガス圧接	42
5節 機械式継手	46
6節 溶接継手	47

仮設、土工事などは  
オブジェクトのカテゴリと関連が  
薄いものがある

耐火被覆が  
鉄骨工事にある

カーテンウォールは  
壁？建具？

塗装のような仕上関連のカテゴリ  
は？  
壁塗装なら壁？

## 【想定される課題】

- 言葉の定義（部位・オブジェクト・工種の別、属性項目・パラメータ・プロパティの違い）
- 命名則、単位系等の基準の整理
- 属性項目リストのフォーマット（他のチームとの整合が必要）
- ユースケースのリストアップ
- 連携の関係者の整理

# 構造情報検討チーム報告

---

# 構造情報検討チーム 検討状況

過去、BLCJ、JSCAで構造・躯体に関するパラメータの整理が行われてきており、これらの整合、不足について確認を行っている

## ■ 検討作業

① BLCJとJSCAで作成したパラメータを統合し、整理を行う

(タスク1、タスク2)

- ・ BLCJは主に構造部材が持つ断面情報の検討を行ってきた
- ・ JSCAは設計が伝達すべき情報全般について検討してきた
- ・ 上記を踏まえ、必要な情報としての種別/断面/配置情報を検討

・ 追加で必要となる情報の検討

② 属性情報の決定プロセスを検討  
S2からS5までを対象とし、どの属性情報を誰がいつ定めるかを検討

(タスク4)

部材の種類	BLCJパラメータの分類			項目	採用可否	S2	S3	S4	S5			
	大分類	中分類	小分類									
配筋情報	共通	主筋	径	径	★		dⓈ	dⓈ				
			帯筋	径	★		dⓈ	dⓈ				
			芯鉄筋	径	★		dⓈ	dⓈ				
	柱頭	主筋	幅止筋	鉄筋重心間距離(X)	鉄筋重心間距離(X)	★		基dⓈ	⇒	⇒	⇒	cⓈ
				鉄筋重心間距離(Y)	鉄筋重心間距離(Y)	★		基dⓈ	⇒	⇒	⇒	cⓈ
			主筋	X方向_片側総本数	主筋片側総本数(X)	★	dⓈ	⇒	dⓈ			
			X方向_1段目本数	1段に並ぶ主筋本数(X)	★		dⓈ	dⓈ				
			Y方向_片側総本数	主筋片側総本数(Y)	★	dⓈ	⇒	dⓈ				
			Y方向_1段目本数	1段に並ぶ主筋本数(Y)	★		dⓈ	dⓈ				
	帯筋	帯筋	X方向本数	X方向本数	★		dⓈ	dⓈ				
			Y方向本数	Y方向本数	★		dⓈ	dⓈ				
			ピッチ	ピッチ	★		dⓈ	dⓈ				
	芯鉄筋	本数	幅止筋	工法	工法	★		基dⓈ	⇒	⇒	⇒	cⓈ
				帯筋本数割付ピッチ	△断面の絵	★		基	⇒			
			帯筋本数割付ピッチ	△断面の絵	★		基	⇒				
X方向補助筋の有無			X方向補助筋の有無	★		dⓈ	dⓈ					
Y方向補助筋の有無			Y方向補助筋の有無	★		dⓈ	dⓈ					
補助筋径			補助筋径	★		基dⓈ	⇒	⇒	⇒	cⓈ		
幅止筋	幅止筋	幅止筋	補助筋ピッチ	補助筋ピッチ	★		基dⓈ	⇒	⇒	⇒	cⓈ	
			X方向本数	X方向本数	★		基dⓈ	⇒	⇒	⇒	cⓈ	
		Y方向本数	Y方向本数	★		基dⓈ	⇒	⇒	⇒	cⓈ		
		ピッチ	ピッチ	★		基dⓈ	⇒	⇒	⇒	cⓈ		

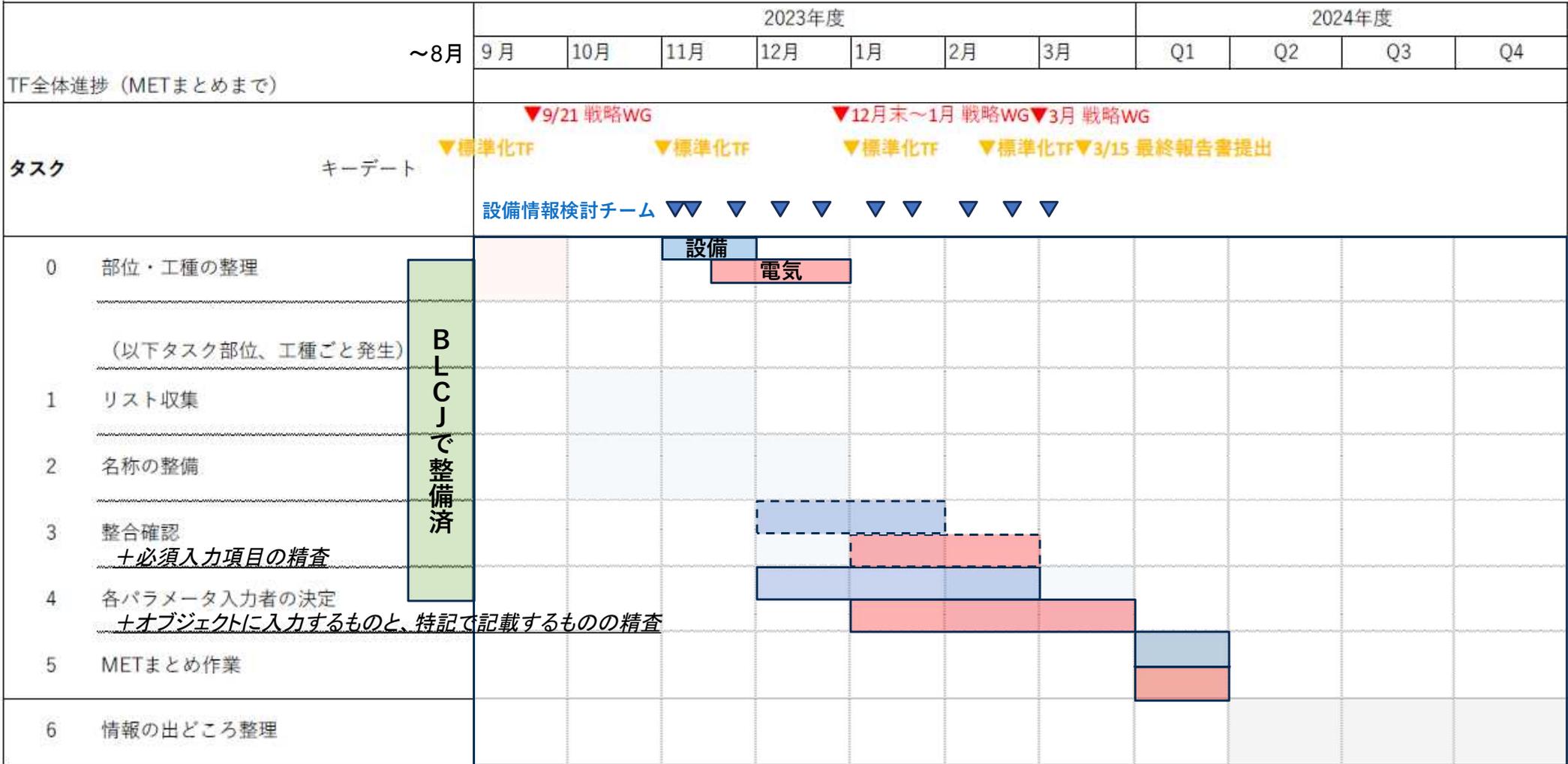
# 設備情報検討チーム報告

---

# 設備情報検討チームの進捗

BLCJにおいて検討した設備標準を元に進める。BLCJ標準に対し、主にタスク3以降について不足を精査する。また、ステージ（S2～S5）毎に属性情報（パラメータ）を誰がいつ決めているかを検討し、最終MET/MATの形でまとめる。設備情報検討チームは、設計者、施工者共同で作業を行う

231027



設備機器類、機具類の下記の機種について検討を進める。

項目	機種	工種
機器類	ボイラ	空気調和設備 機器設備
	冷凍機(電動系)	//
	冷凍機(燃料系)	//
	冷却塔	//
	空調機	//
	FCU	//
	EHP	//
	GHP	//
	PAC室内機	//
	全熱交換器	//
	送風機	換気設備 機器設備
	排煙機	排煙設備 機器設備
	ポンプ	空気調和設備 機器設備 給水設備 排水設備 給湯設備 消火設備
	衛生器具	衛生器具設備
	受水タンク	給水設備
	貯湯タンク	給湯設備
	給湯器	給湯設備

項目	機種	工種
器具類	制気口	空気調和設備 ダクト設備 換気設備 ダクト設備
	排煙口	排煙設備 ダクト設備
	ダンパー	空気調和設備 ダクト設備 換気設備 ダクト設備 排煙設備 ダクト設備
	バルブ	空気調和設備 配管設備 給水設備 排水設備 給湯設備
	制御バルブ	自動制御設備
	消火栓	消火設備
	スプリンクラーヘッド	消火設備
	VAV/CAV	

※ . . .

# 標準パラメータリストの一覧 電気

電気についても、機器類、機具類を中心に検討を進める。  
 現状のオーサリングツールで対応できない配線等については、あるべき理想を想定しながら、現状を考慮して検討を進める

項目	機種	工種
機器類	配電機器	電力設備
	受電盤	電力設備
	高低圧配電盤	電力設備
	変圧器盤	電力設備
	電灯盤	電力設備
	動力盤	電力設備
	手元開閉器	電力設備
	分電盤	電力設備
	制御盤	電力設備
	監視装置	電力設備

項目	機種	工種
機器類	非常用発電装置	発電設備
	太陽電池モジュール	発電設備
	照明器具	照明設備
	蛍光灯器具	照明設備
	白熱灯器具	照明設備
	高圧放電灯	照明設備
	その他照明器具	照明設備
	LED器具	照明設備
	有機EL器具	照明設備
	通信機器	弱電設備
	スピーカ	弱電設備
	防災機器	自動火災報知設備
	差動式スポット型感知器	自動火災報知設備
	定温式スポット型感知器	自動火災報知設備
	光電式スポット型感知器	自動火災報知設備

※ . . .

# 施工・メーカー情報検討チーム報告

---

# 施工・メーカー情報検討チーム進捗状況

wrike 阿部 <

検索 Ctrl+K

受信トレイ

ダッシュボード

私のやること

その他

スペース

標準化TF 施工製作情報...

スペースの概要

プロジェクトとフォ...

- > 02\_仮設工事
- 03\_土工事
- > 04\_地業工事
- 05\_鉄筋工事
- > 07\_鉄骨工事
- > 08\_CB、ALCパネル及び押...
- 09\_防水工事
- 10\_石工事
- 11\_タイル工事
- 12\_木工事
- > 13\_屋根及びとい工事

## 標準化TF 施工製作情報検討チーム

プライベート | 5人のメンバー | ⓘ ...

目 テーブル

📊 グラフ

📅 ガントチャート

すべて ▾

▼ すべての有効なタスク

↑↓ 名前

🔍 フィールド

🔗 展開 ...

	名前	↑ ステータス	進捗状況	最終変更日
1	> 目 02_仮設工事	処理中	<div><div style="width: 50%;">50%</div></div>	2023/10/23
6	> 目 03_土工事	処理中	<div><div style="width: 34%;">34%</div></div>	2023/10/23
11	> 目 04_地業工事	処理中	<div><div style="width: 34%;">34%</div></div>	2023/09/15
	<input type="checkbox"/> > 目 05_鉄筋工事	新規	<div><div style="width: 0%;">0%</div></div>	2023/10/23
24	> 目 07_鉄骨工事	処理中	<div><div style="width: 34%;">34%</div></div>	2023/10/23
35	> 目 08_CB、ALCパネル及び押出成形セメン	新規	<div><div style="width: 0%;">0%</div></div>	2023/10/23
57	> 目 09_防水工事	処理中	<div><div style="width: 34%;">34%</div></div>	2023/10/23
62	> 目 10_石工事	処理中	<div><div style="width: 34%;">34%</div></div>	2023/10/23
67	> 目 11_タイル工事	処理中	<div><div style="width: 34%;">34%</div></div>	2023/10/23
72	> 目 12_木工事	新規	<div><div style="width: 0%;">0%</div></div>	2023/09/15
79	> 目 13_屋根及びとい工事	処理中	<div><div style="width: 17%;">17%</div></div>	2023/10/23
92	> 目 14_金属工事	新規	<div><div style="width: 0%;">0%</div></div>	2023/10/23
100	> 目 15_左官工事	処理中	<div><div style="width: 34%;">34%</div></div>	2023/10/23

+ 項目

# 施工・メーカー情報検討チーム進捗状況

## 🏠 標準化TF 施工製作情報検討チーム

プライベート | 5人のメンバー | ⓘ ...

📄 テーブル

📊 グラフ

📅 ガントチャート

すべて ▾

⌵ すべての有効なタスク

↕ 名前

🔍 フィールド

🔗 展開 ...

名前	↑ ステータス	進捗状況	最終変更日
67 > 📄 11_タイル工事	処理中	 34%	2023/10/23
72 > 📄 12_木工事	新規	 0%	2023/09/15
79 > 📄 13_屋根及びとい工事	処理中	 17%	2023/10/23
92 > 📄 14_金属工事	新規	 0%	2023/10/23
100 > 📄 15_左官工事	処理中	 34%	2023/10/23
105 > 📄 16_建具工事	暫定版 (完了)	 25%	2023/10/24
117 > 📄 17_カーテンウォール工事	処理中	 25%	2023/10/23
129 > 📄 18_塗装工事	処理中	 50%	2023/10/23
133 > 📄 19_内装工事	新規	 0%	2023/10/23
141 > 📄 20_ユニット及びその他の工事	暫定版 (完了)	 50%	2023/10/23
150 > 📄 21_排水工事	新規	 0%	2023/10/23
158 > 📄 22_舗装工事	処理中	 50%	2023/10/23
☰ 📄 > 📄 23_植栽及び屋上緑化工事	処理中	 34%	2023/10/23

+ 項目

# 施工・メーカー情報検討チーム進捗状況

## <進捗状況概要>

- ・ 整合性チェックチームの業務量や、施工属性情報の整理のしやすさを再度検討し、工種別属性情報リスト整理の方向性を議論した。
- ・ 再検討の結果、公共工事標準仕様書の分類に基づき、整理することとした。
- ・ 今年度の目標は全22工種に対し、最低1工種の属性情報リストを作成する。
- ・ 全22工種の属性情報リストのベースを作成した。
- ・ ヒアリング対象工種について、4工種を選定した。

# 積算情報検討チーム報告

---

# 標準化TFにて想定している作業内容及び課題

2023成果物⇒各チームパラメータリストまとめ

	2023年		2024年			
	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
意匠設計情報検討チーム	確認申請オブジェクト以外の 部位別オブジェクトの整理		MET/MAT	意匠設計に関わる 仕様書のデジタル化		
製作メーカー情報検討チーム	工種別属性情報の整理					
構造情報検討チーム	免制震等メーカー情報の整理		MET/MAT			
	BLCJ標準とJSCA (S2~S4) の整理					
仕様書のデジタル化						
設備情報検討チーム	BLCJをS2~S4に分解		MET/MAT			
仕様書のデジタル化						
データ整合チェックチーム 積算情報検討チーム	中間ファイルの検討	部位別 - 工種別の相関を整理		中間ファイルの定義 / 実装		
	コード体系の検討					
	BIM概算手法の検討 (設計BIMデータ標準策定後)		ユースケース別 IFCの定義			
		ユースケース選定(戦略WG?)				
外部DB検討チーム	20231030		外部DBの検討(現在は各社で検討中)(標準化TFで扱うべきかの議論が必要)			

概算の定義

# 標準化TFにて想定している作業内容 及び 課題

## ■想定している作業内容

- ・設計BIMデータ標準案策定後、それありきでの概算手法の検討。
- ・ロングリストへ、積算職能の立場から盛り込むべき情報の提案。  
※LOCシートとの比較検討
- ・bSDDのコード体系と、従来の概算手法の比較検証

## ■課題

- ・意匠検討チームにおいて、S2～S4別に検討依頼・調整  
※現在検討しているのは、実施設計段階の「積算」ではなく、  
設計段階(S3段階までの)における「概算」手法の検討のため。

# データ整合チェックチーム報告

---

# データ整合チェックチーム進捗状況

## <進捗状況概要>

- ・ 整合チェックチームの作業スケジュールを整理し、マイルストーンを検討した。

(本格的な作業は11月以降を予定)

部位－工種関係整理の方向性

コード化の方向性

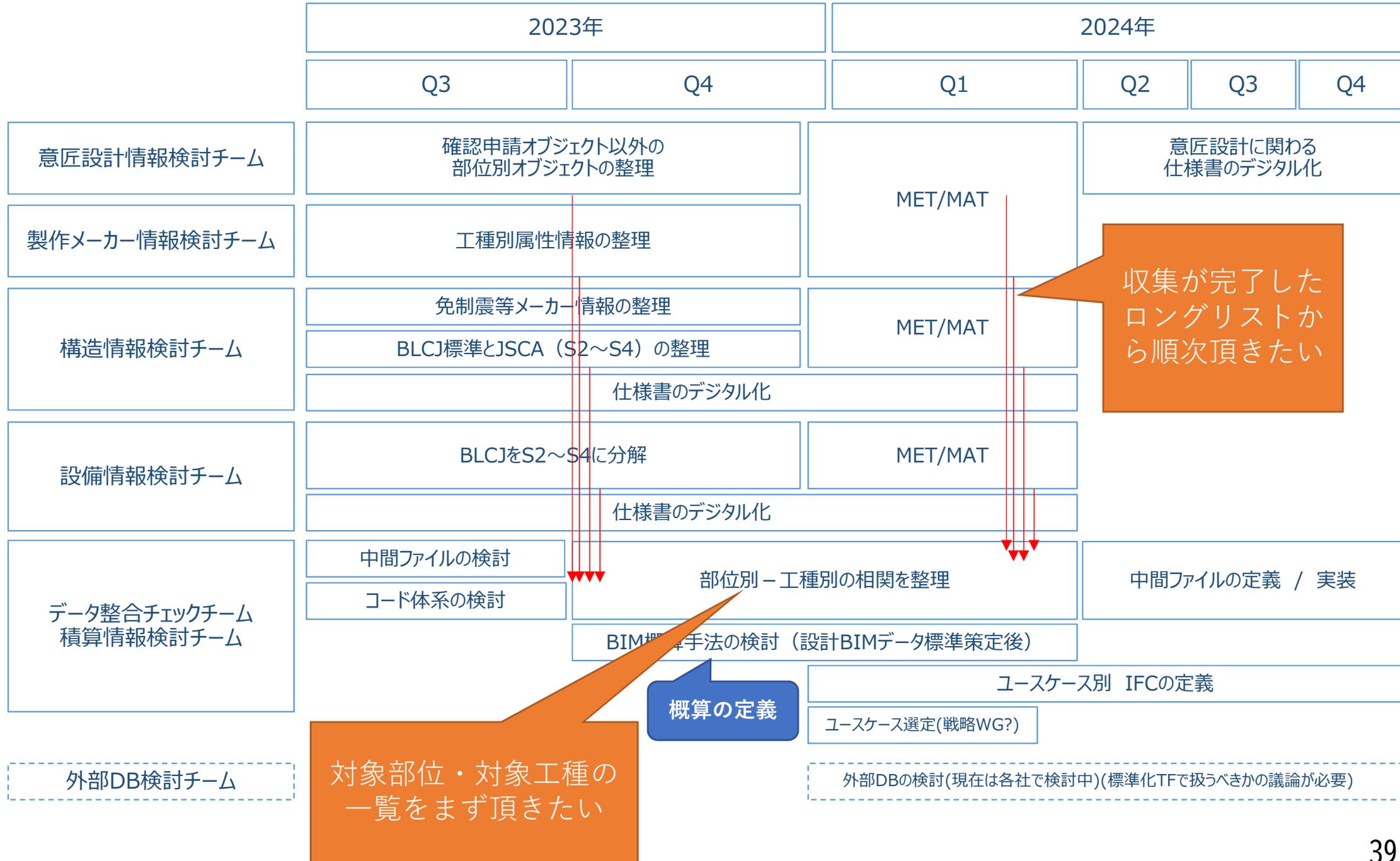
中間ファイルフォーマット案

を議論した。

- ・ 各設計チーム、施工・製作チームからの部位及び工種の一覧案を頂いた時点で検討・作業を開始する。
- ・ 第三回会議を11/6（月）実施。

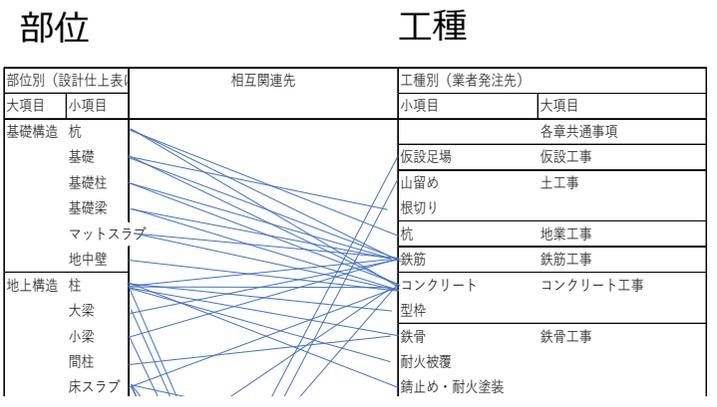
# 標準化TFの進め方（案）

2023成果物⇒各チームパラメータリストまとめ



# データ整合チェックチーム進捗状況

## < 部位-工種 関係整理 (案) >

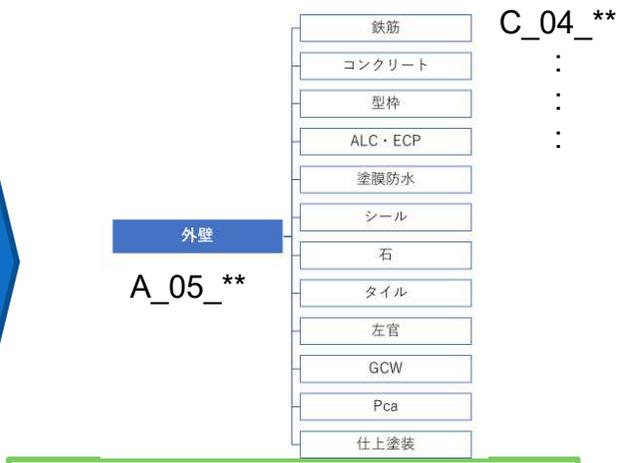


関係図



マトリクス表: 部位-工種関係マトリクス表。縦軸は部位 (仮設足場, 山留め, 根切り, 杭, 鉄筋, コンクリート, 型枠, 鉄骨, 耐火被覆, マットスラブ, 地中壁, 地上構造), 横軸は工種 (仮設工事, 土工, 地業工事, 鉄筋工事, コンクリート工事, 型枠工事, 鉄骨工事, 耐火被覆工事, 錆止め・耐火塗装工事, 防水工事)。

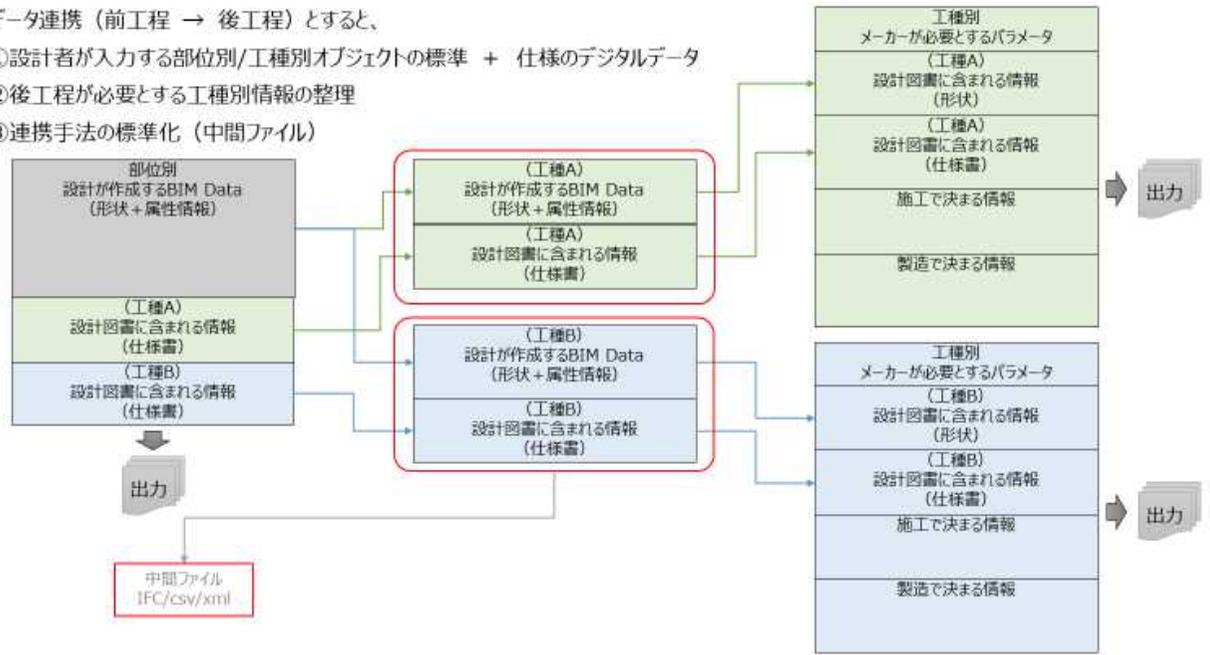
マトリクス表



体系化・コード付番

### オブジェクトに関する属性情報の標準化

- データ連携 (前工程 → 後工程) とすると、
- ① 設計者が入力する部位別/工種別オブジェクトの標準 + 仕様のデジタルデータ
- ② 後工程が必要とする工種別情報の整理
- ③ 連携手法の標準化 (中間ファイル)



各ロングリストへ反映

※ 部位 → 現時点では想定とする  
工種 → 公共工事標準仕様書

# データ整合チェックチーム進捗状況

## <コード化 (案) >

仮設計項目コード	意匠設計 No.	意匠設計(BLCJ)		施工製作(bSJ)	施工製作 No.	仮施工項目コード
A_20_02_001		1企業コード		程度・グレード	1	C_16_04_001
A_20_02_002		2企業名	A_20_02_009 = C_16_04_002	2建具種類	2	C_16_04_002
A_20_02_003		3企業URL		建具符号	3	C_16_04_003
A_20_02_004		4分類コード		内外区分	4	C_16_04_004
A_20_02_005		5分類グループ		防火区分	5	C_16_04_005
A_20_02_006		6製品グループ		防煙区分	6	C_16_04_006
A_20_02_007		7メーカー型番		W	7	C_16_04_007
A_20_02_008		8型式名称		W1	8	C_16_04_008
A_20_02_009		9建具種類		必要有効W	9	C_16_04_009
A_20_02_010		10建具番号		親W (親子開き、両開きの場合のみのパラメータ)	10	C_16_04_010
A_20_02_011		11内外区分		子W (親子開き、両開きの場合のみのパラメータ)	11	C_16_04_011
A_20_02_012		12取付場所	⇒受け入れ先?のパラメータは参考値とする	HH	12	C_16_04_012

設計 (意匠)	部位番号	部位番号サブ1	部位番号サブ2	パラメータ番号	値 (設計)
A_	10_	01_	01_	001_	01

例: 建具種類      A\_20\_02\_01\_009

||

例: 建具種類      C\_16\_04\_01\_002

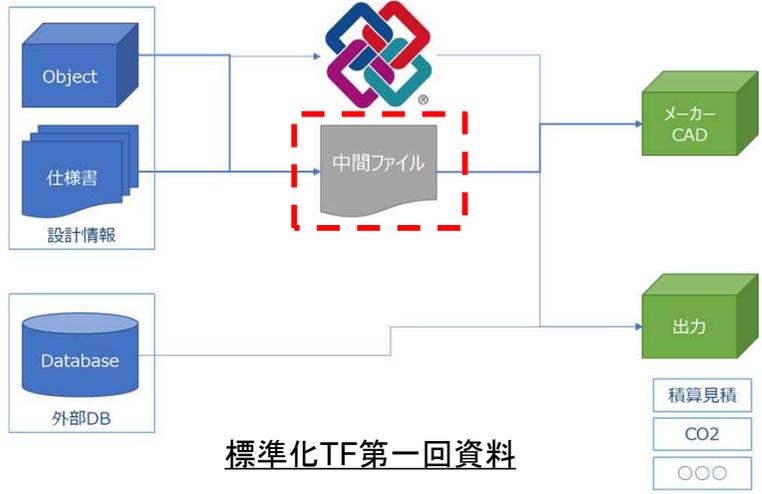
施工	工種番号 (章)	工種番号サブ1	工種番号サブ2	パラメータ番号	値 (施工)
C_	10_	01_	01_	001_	01

例	建具工事 16_	鋼製建具	親子・両開扉	防火区分	防火設備
	内装工事 19_	アルミ製建具	引戸	枠性能	特定防火設備
	:	:	:	:	一般
	:	:	:	:	:

# データ整合チェックチーム進捗状況

## < 中間ファイルフォーマット (案) >

### 説明文



標準化TF第一回資料

仮設計項目コード	意匠設計 No.	意匠設計(BLCJ)	施工製作(bSJ)	施工製作 No.	仮施工項目コード
A_20_02_001	1	企業コード	程度・グレード	1	C_16_04_001
A_20_02_002	2	企業名	建具種類	2	C_16_04_002
A_20_02_003	3	企業URL	建具符号	3	C_16_04_003
A_20_02_004	4	分類コード	内外区分	4	C_16_04_004
A_20_02_005	5	分類グループ	防火区分	5	C_16_04_005
A_20_02_006	6	製品グループ	防煙区分	6	C_16_04_006
A_20_02_007	7	メーカー型番	W	7	C_16_04_007
A_20_02_008	8	型式名称	W1	8	C_16_04_008
A_20_02_009	9	建具種類	必要有効W	9	C_16_04_009
A_20_02_010	10	建具番号	親W (親子開き、両開きの場合のみのパラメータ)	10	C_16_04_010
A_20_02_011	11	内外区分	子W (親子開き、両開きの場合のみのパラメータ)	11	C_16_04_011
A_20_02_012	12	取付場所	HH	12	C_16_04_012

例) ロングリスト

## 2023年bSJ建築データ連携小委員会報告書 中間ファイルフォーマット案(鋼製建具)

単位: mm(小数点第一位) 点第一位 点第一位 点第一位

1行目	// 日時 ユーザー名														
2行目	VER	1.0.1	ファイルバージョンを記載する												
	Text	Text	1.0.2等の発生を考慮してテキストとする												
3行目	ABSOL	Xi	Yi	Zi	※3次元原点を定義した場合										
	Text	数字	数字	数字											
3行目	FLOOR	階	見上/見下/他	Xi	Yi	※2次元原点を定義した場合									
	Text	Text	Text	数字	数字										
タイプの開始行	FAMS	ID	ファミリータイプ名	建具記号	建具番号	内外区分									
	Text	数字	Text	Text	Text										
寸法定義	SIZE	W1	HH	H	RH	UH	親W	子W	有効必要W	有効必要H					
	Text	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字					
防火性能定義	BOUKA	防火区分	防煙区分												
	Text	Text	Text												
性能定義	SEINO	枠	耐風圧	遮音	断熱	気密	水密	耐震							
	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text							
躯体開口定義	KUTAI	クリア寸法左	クリア寸法右	クリア寸法上	クリア寸法下	開口幅	開口高さ								
	Text	数字	数字	数字	数字	数字	数字								
枠定義	WAKU	形状	サリ (原側)	サリ (副側)	見付 (原側)	見付 (副側)	下枠見付 (原側)	下枠見付 (副側)	戸当り見付	戸当り見込	枠仕上取合い	枠見込	材質	仕上	
	Text	Text	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	Text	数字	Text	Text	
欄間定義	RANMA	有無	種類	方立見付	パネル (両側)	パネル (副側)	パネル (原側)	ガラリ	ガラリタイプ	ガラリオプション	排煙開閉角度	無目見付			
	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text	Text			
下枠・省略定義	KUTSU	枠用ハッチ有無	形状	材質	仕上										
	Text	Text	Text	Text	Text										
巾木/戸じり定義	HABAKI	巾木	戸じり												
	Text	数字	数字												
扉定義	DOOR	厚さ	意匠 (親)	意匠 (子)	仕上	材質									
	Text	数字	Text	Text	Text	Text									
扉ガラス定義	GLASS	有無	板厚	MW	MH	ガラス種類									
	Text	Text	数字	数字	数字	Text									
扉ガラリ定義	LOUVRE	有無	タイプ	オプション	GW	GH	材質	仕上							
	Text	Text	Text	Text	数字	数字	Text	Text							
自閉装置定義	JIHEI	自閉装置													
	Text	Text													
庇定義	EAVES	有無	庇出寸法												
	Text	Text	数字												
水切定義	MIZU	水切	水切出寸法	材質											
	Text	Text	数字	Text											
吊金物定義	TSURI	吊金物	メーカー	品番											
	Text	Text	Text	Text											
ハンドル定義	HANDLE	種類	メーカー	品番											
	Text	Text	Text	Text											
フランス落とし定義	FRANCE	有無	メーカー	品番											
	Text	Text	Text	Text											
錠前定義	LOCK	種類	メーカー	品番											
	Text	Text	Text	Text											
戸当り金物定義	TOATARI	有無	メーカー	品番											
	Text	Text	Text	Text											
順位調整器定義	JYUNI	有無	メーカー	品番											
	Text	Text	Text	Text											
召し合せ定義	MESHI	形状													
	Text	Text													
丁番定義	HINGE	枚数													
	Text	数字													
タイプの最終行	FAME														
	Text														
タイプの配置行	POST	ID	Xg	Yg	Zg	Ang									
	Text	数字	数字	数字	数字	数字	数字								
データの最終行	END														
	Text														

# 外部データベースとの接続検討（案）

部位別オブジェクトに内包しないパラメータを外部データベースに含み、工種ごとのテーブルに情報を内包、オブジェクトと紐付ける

